

学生委員会だより

ハイライト:

- 後期試験がはじまります！
- 寒い季節になりました。風邪など引いていませんか？
- 本学後援会主催による「淡路を笑顔にする会」が開催されました。
- 本学学生のそれぞれの成人式…。
- 春休みの過ごし方
- 教員より(図書のおすすめ)

目次:

後期試験はじまる！	1
風邪予防対策	1
「淡路を笑顔にする会」開催	2
本学学生の成人式	2
春休みの過ごし方	3
お薦めの本	3、4
編集後記	4

後期試験がはじまります！

1年生にとってははじめての後期試験です。少し専門科目も入ってきていますので、試験勉強も大変かと思います。2年生は去年の苦しい？思いを思い出している頃ではないでしょうか？

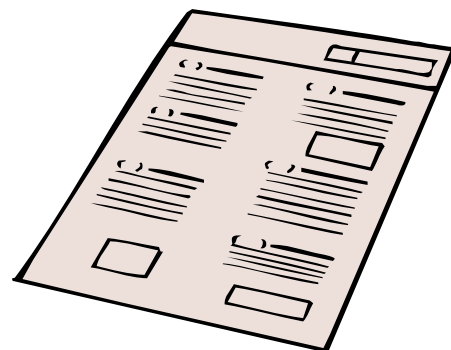
さらに科目が多く、内容も難しいものになっています。最後まで体調を崩さずに、しっかり勉強してください。

試験勉強は、日々の授業をしっかり聞いていることが一番です。あとで教科書をみるからいい…などといって、ぼんやり聞いていると、試験前に大変だということは、学生さん自身がよくわかっていることだと思います。でも、終わってしまったことは仕方がありません。試験前に授業の資料やノート、教科書に線を引いたところを友達同士で確認しあい、分からないところは分担して調べておくなど“仲間”を利用して、みんなで試験をのりきりしましょう…。

最初の科目を頑張るすぎて、あとが続かなくならないように、勉強計画をしっかりたてて、試験期

間中も4時間は睡眠時間をとるようにしてください。バランスの良い食事をとり、頭がフルに働くように朝ごはんもしっかり食べて試験に臨んでくださいね？

分からないところは積極的に教員に聞きにいったり、1年生は先輩に聞いたりしながら、頑張ってください。このことが、将来の国家試験勉強にもつながります。一つ一つコツコツと覚えていきましょう…。ご検討をお祈りいたします。



風邪予防

寒い季節になりました。試験前や試験中に風邪を引いてしまうと、これまでの頑張りがすべて無駄になってしまいます。風邪を引かないように、基本的な「手洗い・うがい」をしっかりしましょう。

食べ物もバランスよく、とくに冬はビタミンが不足しますので、果物や野菜を多くとってビタミン摂取に心がけてください。寒いですが、換気をし

たり、風邪気味だな？と思ったらマスクをして、他の人に移さない配慮もしてください。

特に、バス通学のみなさんは、密閉された空間での移動になります。予防のためにも各自マスクを用意してください。

あまり無理？をせずに、暖かい服装で通学しましょう…。



淡路島を笑顔にしよう

～一人ひとりが幸福になる「信じる力」～ 開催されました

去る2008年1月26日(土)に洲本市のホテルニューアワジにて、標記の会が開催されました。参加者は、淡路島内外から550名でした。

会は、エッセイストで文化団体「笑顔共和国」大統領、福田純子さんの特別講演、南あわじ市で3代助産活動を続けられている、助産師の菊川益子さんのビデオ上映、大学後援会理事で女優の大地真央さんの対談、と充実の2時間でした。

テーマは「笑顔」でした。3人の先生方からは、笑顔ある人生の豊かさや、地域貢献に捧げられた奉仕、滅私の生き方、夢や希望をもつことのすばらしさなど、(聞く人によって捉え方は様々だったかもしれませんが...)人生を幸福に導く秘訣のようなもの、希望が湧いてくるような心の持

ち方などを学ばせていただきました。

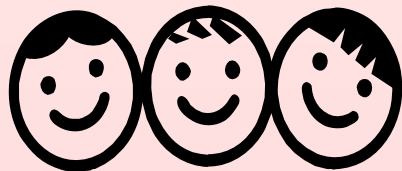
終了後、帰路につかれる参加者の表情が和やかに感じられ、癒しのオーラをいただいたような1日でした。

学生の皆さんも会から得られた学びを今後の人生に役立てていきましょう。



淡路島を笑顔にしよう

私たちも日々を笑顔で過ごし、淡路島に笑顔をふやしていきましょう。



成人式 ～それぞれの門出～

新成人になられた皆さん、おめでとうございます。次代を担う皆さんの門出を、教職員一同心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、文字通りもう子どもではありません。大人の自覚をもったの振る舞いをし、目標に向かって進んでください。

皆さんの今後の活躍に期待いたします。



第1巻 第6号

春休みの過ごし方

～計画的な休暇のすすめ～

①計画的な休暇を・・・

後期試験が終了したら、春期休暇です。皆さん、試験お疲れ様でした。

皆さんは、春季休暇の予定は立っていますか。何も計画がない人は、どうぞ早めのプランニングをおすすめします。なぜならば、春季休暇はとて長いので、無計画に過ごすのはとてももったいないからです。例えば、普段は暇がなくて読めなかった本を読む、大掃除をしてリフレッシュをする(散らかった部屋からは運気が逃げるとも言いますし・・)、旅行に出掛ける、苦手な科目を総復習する、得意科目を深める等、色々なことを実行する時間的余裕があります。

皆さんには、是非、総復習をする時間も計画してほしいと思います。国家試験まで、2年生は後

2年間、1年生は後3年間です。皆さんもお気付きと思いますが、国家試験の範囲は広いので、一夜漬け学習や短期間学習では網羅することは無理です。やはり、こつこつとした積み上げが1番大切であると考えます。休暇を楽しみながら、勉強の楽しみも味わってみてくださいね。

②休み中でも規則正しい生活を・・・

休み前になると必ず申し上げる注意事項をあげます。「規則正しい生活を心掛ける」「防犯対策」「飲酒など、酒量をわきまえハメをはずさないこと」などです。

休暇は、新しく始まる学年への活力を貯める、いわば充電期間でもあります。

新学期には、元気な姿でお会いしましょう。

理事長のつぶやき

有名な川柳家の家訓として
「小才は縁に会うも縁に気づかず」
「中才は縁に会うも縁を活かさず」
「大才は袖触れ合う縁も之を活かす」
という教えがあります。

およそ人間はいかに有能であっても個人で出来る仕事の範囲は限られています。

人の力を借りてこそはじめて立派な仕事、大きな仕事出来るのです。

私達も出来るだけ大きな才覚を持って、袖触れ合う縁もこれを活かす生き方をしたいものです。

※「才」は才覚の意味



お勧めの1冊

～読書の楽しみ～

母性看護学 内山和美教授

『二十歳のころ』 立花隆著 新潮社

若き日に通勤電車(片道40分の書齋)の中で読みふけた小説、今では本棚でセピア色。

紹介します一冊は、立花隆『二十歳のころ』新潮社です。

この本は、大学のゼミで指導教官からの「調べて書く」のテーマのもと学生達が卒業生や一般人のなかから自分が会いたい人にインタビューしたものです。68名の登場人物の疾風怒濤の「二十歳の体験」すべての人たちのオリジナルストーリーです。「二十歳のころがもつ意味」を探し求めていく貴重な体験集です。68名の体験談を読むのは大変でしょう。お勧めの人物は森毅の「大学というのは一種の町」、吉川弘之の「大切なものは人間としての強さ・感受性・勇氣」、崎田昭夫「この人は私と同じ日本人か」、長崎県原爆被害者のインタビュー記事を読みながら、自分で考えるこれからの生活を描いてみては如何でしょうか。この時期(2月)になると大学入学試験に活用されよく目にする一冊でもあります。



学長のつぶやき

早起きのすすめ

国試の開始は午前9時45分です。ベストの体調で試験に臨むには、今から早起きの習慣を身につけておく必要があります。

痛みに慣れると痛みを感じなくなります。同じように早起きも慣れると苦にならなくなります。国試合格率は早起きの習慣に比例します。

